

平成 2 6 年 第 4 回 定 例 市 議 会

* 教 育 行 政 報 告 *

惠 庭 市 教 育 委 員 会

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

恵庭市いじめ防止
基本方針の策定に
ついて

はじめに、恵庭市いじめ防止基本方針の策定について申し上げます。
国のいじめ防止対策推進法や「いじめの防止等のための基本的な方針」に基づき、学校・家庭・地域・関係機関が連携して、いじめの未然防止、早期発見、早期対応の対策を総合的かつ効果的に推進するため、恵庭市いじめ不登校問題等対策協議会などで検討いただき、この度「恵庭市いじめ防止基本方針」を策定したところであります。

この「恵庭市いじめ防止基本方針」の中では重大事態と判断される「いじめ」への対処として、第三者による調査委員会及び再調査委員会を設置するなど、いじめ対策の体制整備を進めることとしております。

なお、この調査委員会及び再調査委員会の設置について別途条例案を提出いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願いいたします。

恵庭市就学援助制
度の見直しについ
て

次に、恵庭市就学援助制度の見直しについて申し上げます。
恵庭市就学援助制度の見直しを行うため、本年6月に恵庭市就学援助制度検討協議会を設置し、9月までの4回にわたり検討協議会を開催し、10月20日に検討協議会会長より、大きく3点について報告をいただいたところです。

1点目は、生活保護基準の見直しに伴う対応として現行水準を維持するための、就学援助制度の認定にかかる条件の見直しについて、2点目は、就学支援充実の観点から、新たにクラブ活動費、PTA会費、生徒会費を追加することについて、3点目は、高校入学仕度金を貸付制度から給付制度に移行することについてであります。

なお、新たな給付制度の中で、地域の子どもの地域ぐるみで育て支援するような仕組みづくりについても、要望いただいたところであります。

	<p>今後、検討協議会の意見を参酌しながら教育委員会で協議し、平成27年度予算に向けて取り進めて参りたいと考えております。</p>
<p>小中連携の取り組みについて</p>	<p>次に、小中連携の取り組みについて申し上げます。</p> <p>柏陽中学校の土曜学習会は、本年2月より実施しており、引き続き本年度も月1回実施しているところですが、新たな試みとして、10月の土曜学習会より、同じ校区である若草小学校と合同の土曜学習会を実施し、5・6年生18名が参加したところであります。</p> <p>若草小学校と柏陽中学校の小中連携の取り組みは、土曜学習会のほか、両校教諭の合同研修会による一貫した指導や指導力の向上などを実施しており、今後、事業の検証を行いながら取り組みを推進して参りたいと考えております。</p>
<p>全国学力・学習状況調査の公表について</p>	<p>次に、全国学力・学習状況調査の公表について申し上げます。</p> <p>文部科学省による平成26年度の全国学力・学習状況調査は、4月に実施され、8月にその集計結果について、市町村及び各小中学校に通知があったところです。</p> <p>現在、恵庭市では、集計結果の分析・公表に向けて作業を進めているところです。</p> <p>また、北海道教育委員会では本年度より各市町村別の結果概要について、市町村の同意を得て公表することとしており、その対応について北海道教育委員会と調整してきたところであります。</p> <p>その内容は、11月25日北海道教育委員会から公表された「北海道版結果報告書」の市町村の状況の中に掲載されましたので、その旨申し添えます。</p>
<p>学校給食による食</p>	<p>次に、学校給食による食育の推進について申し上げます。</p>

育の推進について

恵庭産食材を活用した学校給食を通して、市民の食に対する関心を高めることや食べることを正しく理解していただくことを目的に、9月28日開催の「えにお健康まつり」に「学校給食展」を出展しました。

また、11月16日には、北海道文教大学と一般財団法人恵庭市学校給食協会の共催による「食育教室2014」を、地元の農業者グループ「ルーキーズカンパニー」の協力を得て開催し、小・中学生の親子81名の参加があったところです。

文化功労者等表彰
について

次に、文化功労者等表彰について申し上げます。

本年度の文化功労者・スポーツ功労者・青少年表彰につきましては、11月3日に市民会館において合同表彰式を実施し、文化功労者に4個人、スポーツ功労者に17個人・7団体、青少年表彰に4個人・1団体の方々を顕彰させていただきました。

青少年健全育成事
業について

次に、青少年健全育成事業について申し上げます。

11月は秋の恵庭市青少年育成強調月間であることから、恵庭市青少年育成市民の会では、市民啓発のチラシを配布するとともに、11月22日に「未来へ響け！若者たちのメッセージ」をメインテーマに「恵庭市青少年育成市民のつどい」を開催いたしました。

このつどいでは、姉妹都市ニュージーランド・ティマル市へ派遣した中学・高校生による報告や中学生生活体験発表、加盟団体等によるアトラクション及び活動発表等を行い、市民が若者たちの意見や考えに耳を傾け、理解を深めることにより、地域における青少年育成活動の一層の推進を図ったところです。

大雨による体育施
設の被害状況につ

次に、大雨による体育施設の被害状況について申し上げます。

9月11日の大雨により、恵庭公園陸上競技グラウンドがトラック内

いて

冠水及び本部席浸水となり、また、恵庭公園庭球場ではコートの手半分が冠水し、いずれも同日の午後から排水作業を行い、復旧を図りました。

中島公園庭球場では、冠水によって人工芝が浮き上がった状態となり、今後修復工事を予定しております。

また、漁川パークゴルフ場では、カワセミコースに多数の流木、泥水・土砂が堆積し、ティー台やホールカップ、植込み・防護ネットなどが流失いたしました。

カワセミコースの復旧作業には、2週間に亘り延べ60人の市民ボランティアの皆さんにご協力いただき、10月1日にオープンしたところです。

スポーツ活動状況
について

次に、スポーツ活動状況について申し上げます。

9月19日韓国の仁川^{インチョン}で開催されたアジア競技大会陸上競技において、北海道ハイテクACの福島千里選手が女子100mで2位、200mで3位、400mリレーで3位と活躍されました。また、同選手を応援するため、北海道ハイテクノロジー専門学校で市民有志によるパブリックビューイングを開催したところです。

更に、10月19日長崎県で開催された国民体育大会成年女子100mにおいて、同選手が5連覇を成し遂げ、恵庭に関係する4選手で構成する400mリレーでは2位の成績を収めております。

また、10月24日東京で開催された全日本ジュニア新体操選手権大会では、男子団体において、「北海道新体操クラブ恵庭」が見事3連覇を果たし、11月14日東京で開催された全日本新体操選手権大会に出場いたしました。

長年に亘るサッカースポーツを通じた活動が評価され、「恵庭FCスポーツ少年団」が本年度の生涯スポーツ優良団体文部科学大臣表彰を受賞されました。

図書館事業について

次に、図書館事業について申し上げます。

10月の読書活動推進月間におきましては、市民との協働により「図書館まつり」、「図書館開館24時」、「本のリサイクル市」、「大人のための朗読会」を開催し、多くの市民の皆さまの参加をいただきました。

更に、高校生の読書活動を積極的に支援するため、市内高校との連携を図り、恵庭北高校への団体貸出サービスを10月から開始したところでもあります。

また、本年の不明本調査では、前年より95冊少ない264冊と過去最小の冊数となりました。今後も蔵書の保存管理に努めて参りたいと考えております。

郷土資料館事業について

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

郷土資料館では、国指定の重要文化財は通常レプリカを展示しているところですが、11月1日から16日まで、特別展示「カリンバ遺跡出土品展」を開催し、漆製品など実物の国指定重要文化財を多くの皆様にご覧いただき、恵庭市の歴史に触れていただきました。

また、7月から10月にかけて、「遺跡発掘からふるさとを知ろう」をテーマに、カリンバ土曜講座を4回開催し、毎回定員を上回る参加をいただきました。

遺跡発掘調査について

次に、市内遺跡発掘調査について申し上げます。

市内遺跡発掘調査事業では、島松Bチャシ跡の現場調査を5月から行って参りましたが、縄文時代の「壕」が発見されたことから調査期間を延長し、10月27日に終了したところです。

今後、整理作業を行い、来年3月末に本遺跡調査の報告書を完成する予定となっております。

以上、はなはだ簡単ではありますが第3回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。